

編集後記

▼本年度、シンクタンク神奈川の政策研究報告を従来の報告書に替えて「かながわ政策研究・大学連携ジャーナル」として情報発信することを試みる。シンクタンク神奈川の研究ができるだけ多くの人の目に触れることが最大の目的である。多くのご意見、ご批判をいただき、研究内容に対する議論が起こることを望みたい。（岸本）

▼「3本の矢」が流行っている。今年度の財政関連の研究3本は交流しながら進められた。コミュニティ、レジリエンス、人口減少の3本の研究も、地域社会をめぐる重要課題という点で共通している。それぞれ積み残した課題もあるが、束ねることで相乗効果もでてくることを期待したい。（中嶋）